

健康茶
組合
と茶

カワラケツメイ茶認証取得

エコやまぐち農産加工品に

山口市徳地地域特産の健康茶「カワラケツメイ茶」の再興を目指している、とくち健康茶企業組合(重本正樹理事長)は4日、無化学農薬・無化学肥料で栽培する「エコやまぐち農産加工品」の認証に続き、エコ農産物を使った加工品を証明する「エコやまぐち農産加工品」認証を取得し、認証機関の県有機農産物認証推進協会



認証機関からエコやまぐち農産加工品の認定証を受けるとくち健康茶企業組合の関係者たち(左側3人)

(糸原義人理事長)から認定証が交付された。

昨年からカワラケツメイの栽培を本格化させている同組合は無化学農薬・無化学肥料のエコ100栽培が基本理念で、今年には栽培に参加した全43農家(158戸)がエコやまぐち農産物を申請。同協会の検査を受けて認証を取得した。

だが、エコ100栽培で作ったカワラケツメイであっても健康茶に加工した場合、エコやまぐち農産加工品の認証を得ないと販売時に「エコ100マーク」のシールを張ることができない。エコな商品でも証明がないと付加価値に結び付かないため、同協会に認証申請していた。

同協会によるとエコやまぐち農産物を95%以上、原材料として使用した加工品が条件。さらに、加工所もエコやまぐち農産物以外が混ざらないような工程になっている必要がある。

認定証の交付は同市大内

御堀の同協会であり、同組合の原健太郎専務理事のほか、栽培の松田圃子理事と加工販売の増田久美子理事が訪れ、同協会の久保紀夫事務局長から受け取った。

認証は県内5社目という。原専務によると今シーズンの生産量は約3ト。夏の雨が多かったことなどで目標の3・6トには届かなかった。